

令和6年度第2回 朝霞市都市計画審議会 次第

日時 令和6年10月2日（水曜日）

午後2時30分から5時（予定）

場所 朝霞市役所 別館5階 大会議室（手前）

1 開 会

2 挨 拶

3 議 題

- ・議案第1号 朝霞市都市計画マスタープランの策定について
- ・議題第2号 特定生産緑地の指定について（意見聴取）

4 その他（報告事項）

- ・報告事項第1号 新たな公共交通の導入について
- ・報告事項第2号 市内循環バス「根岸台線・宮戸線」について
- ・報告事項第3号 東武鉄道との覚書締結について

5 閉 会

議案第 1 号

朝霞市都市計画マスタープランの策定について

前回都市計画審議会の振り返りと今回の議題

(1) 前回都市計画審議会で頂いたご意見とその対応方針

< 令和 6 年度第 1 回朝霞市都市計画審議会 >

日時：令和 6 年 7 月 2 日（火）14：00～17：00

場所：朝霞市役所 別館 5 階 大会議室（奥）

ご意見（要約）	対応方針
●現況整理についてのご意見	
人口や土地利用、産業、都市施設など、現状の整理をしっかりと行うこと	人口や土地利用など朝霞市の基本的な情報を整理し、20 年間の変化を更新した。（資料 3 及び参考資料 2 参照）
朝霞市の状況を判断するために隣接市町などの他都市の比較を加えること	将来像の実現に向けた課題の整理の根拠として隣接市町との比較を追加するなど、朝霞市の状況が把握しやすいよう表現を工夫した。（参考資料 3 参照）
●都市計画マスタープランの構成に関するご意見	
テーマ型は市民のにとってわかりやすい構成であるが、総合計画との差異がわかりづらくなる恐れがある。そのため総合計画との役割分担を明示するなど関係性を整理しておく必要がある	総合計画と都市マスの関係性を資料に明示した。（次頁参照）
市民にわかりやすい計画にすると観点で、都市マスの構成をテーマ型とすることが望ましい	前回都計審における各委員から頂いたご意見を踏まえ、都市マスの構成を「テーマ型」として進めていきたい。
各課の役割や責任を明確にするために、逆引き整理は必要である	都市マスの構成として「テーマ型」を採用する場合は、各課の施策が明確となるよう逆引きを整理する。（資料 3 参照）
現状及び将来見通しを踏まえ、朝霞市の都市づくりの課題を明確にすること	将来像の実現に向けた課題の整理では、ご指摘を踏まえ整理した。（資料 3、参考資料 2 及び参考資料 3 参照）
●その他	
計画書の整理においては、ビジュアルを意識しつつ、読みやすく、手に取りやすいよう工夫をしてほしい	本編の作成においては、読みやすく、手に取っていただけるよう表現等を意識し取り組んでいく

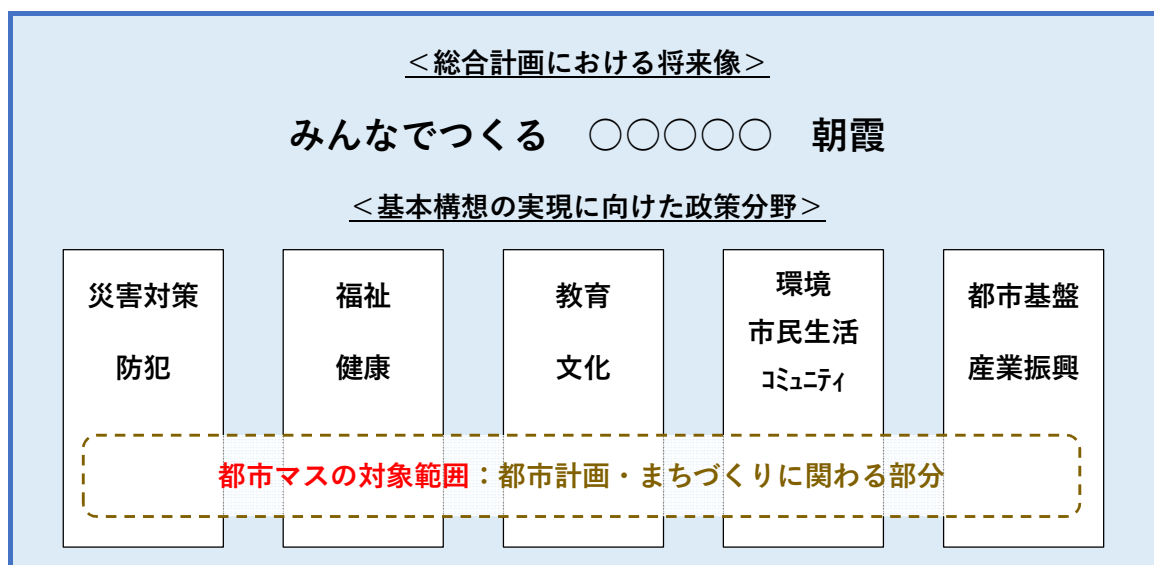
(2) 都市マスの構成について

前回の都市計画審議会における都市マスの構成に関する意見や、先日実施した第3回庁内検討委員会での結果（次頁（4）を参照）を踏まえ、次期都市マスの構成は『テーマ型』を採用する。

ただし、懸念される事項については以下のように対応する。

テーマ型の都市マスに対する懸念事項	対応方針
①テーマ型は市民のにとってわかりやすい構成であるが、総合計画との差異がわかりづらくなる恐れがある。そのため総合計画との役割分担を明示するなど関係性を整理しておく必要がある。	⇒総合計画との役割分担を明確にする。（以下を参照）
②各課の役割や責任を明確にするために、逆引き整理は必要である。	⇒庁内における役割分担を明確にするため、これまでの分野別等による逆引き資料を整理する。（資料3を参照）
③どのようにしてテーマが出てきたのか、その根拠をきちんと示す必要がある。	⇒テーマが導き出される考え方を整理する。（資料3を参照）

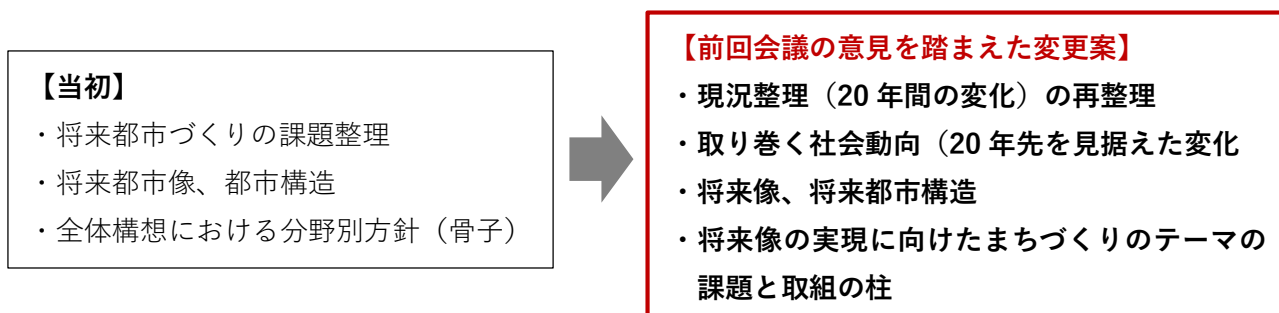
■総合計画と都市マスの関係性



※総合計画の将来像等に関しては「R6.8.26 第7回朝霞市総合計画審議会資料」より

(3) 今回の議題

前回の都市計画審議会で頂いた意見を踏まえ、今回の議題を以下のように変更した。



(4) 第3回庁内検討委員会での意見とその対応状況

<第3回庁内検討委員会>

日時：令和6年9月3日（火）10：00～11：30

場所：朝霞市役所 別館5階 大会議室（奥）

ご意見（要約）	対応方針
●将来都市構造図について	
都市機能補完ゾーンのうち、「医療と福祉と教育の拠点エリア」と「国道254号バイパス沿道エリア」は、防災上の課題を有しており、計画的な土地利用の誘導は防災上の対策をしたうえでの話である。内容の欄に補足説明が必要である。	指摘を踏まえ、内容欄のコメントを「水害等に対する防災対策や豊かな自然環境との調和を考慮したうえで、公共的な機能の維持または計画的な誘導を図ります」に修正した。
県道79号線（朝霞蕨線）沿いが適正な誘導を図る範囲から外れているが、適正な公共施設を備えた宅地になることを鑑みると、このエリアを外すのは良くないのではないか。	国道254号バイパス沿道に設定されている都市機能補完ゾーンを県道79号線沿道も含めるよう拡大した。
水と緑の拠点として、城山公園や郷戸特別緑地保全地区周辺等が位置付けられているが、どのような基準で示されているのか。	庁内調整により、水と緑の拠点として以下の6箇所を位置付けることとした。 ・基地跡地周辺 ・朝霞調整池、わくわく田島緑地周辺 ・城山公園 ・郷戸特別緑地保全地区周辺 ・宮戸特別緑地保全地区周辺 ・島の上公園
●テーマの設定について	
都市マスの構成は「テーマ型」とすることで問題ない。（全員異議なし）	庁内検討委員会で都市マスの構成を「テーマ型」とすることの意思決定がされたことを、次回都市計画審議会に報告する。
5つのテーマが横並びになるのは違和感があり、「安らぎ心地よさ」「安全・安心」が土台となり、その上にそれ以外のテーマがあるイメージではないか。	指摘を踏まえ、まちづくりのテーマ設定の模式図の見直しを行い、「安らぎ心地よさ」「安全・安心」の都市基盤の土台の上に「くらし」「にぎわい・活力」「快適な移動」の3つの朝霞らしさを伸ばすテーマがあるような見せ方とした。
「安全・安心」と「安心・安全」のどちらが表現として適切か	総合計画側と調整し、「安全・安心」で統一することとした。
●現況整理	
現況整理はされているが、その評価が良いのか悪いのかわからない。そのため、現況に対する解釈を追加し、どのような問題があるのかを整理してほしい。	現況整理によるこれまでの20年間の変化を踏まえ、朝霞市の「プラス評価の事項（伸ばしていくべき部分）」と「今後留意すべき事項（改善や対策が必要な部分）」を見える化し、合わせてその根拠資料を追加した。

開催の目的 全体構想の検討段階にて、対象者の異なるワークショップを複数回実施し、朝霞市のまちづくりの方向性や将来像の検討に反映するとともに、都市マスへの関心を高めることを目的に実施しました。

開催の概要 市民や朝霞市で働く方を対象とした「暮らしサロン」、市内高校通学者を対象とした「高校生サロン」、駅周辺のまちづくりに関心がある方を対象とした「駅周辺サロン」を実施しました。

サロンの種類	暮らしサロン	高校生サロン 朝霞高校編	高校生サロン 朝霞西高校編	駅周辺サロン 北朝霞・朝霞台駅周辺	駅周辺サロン 朝霞駅周辺
日時・会場	6月22日（土）10：00～12：00 市役所会議室	7月4日（木）13:30～15:30 朝霞高校	7月17日（木）13:30～15:30 市役所会議室	7月11日（木）18：00～20：00 産業文化センター	7月18日（木）18：00～20：00 市役所会議室
参加人数	18人（4グループ）	12人（2グループ）	30人（6グループ）	18人（3グループ）	12人（3グループ）
テーマ	将来も朝霞に住み、通い、働く	未来の私とまちの姿		将来の駅周辺がこうなったらいいな	
対象者	市民や市内で働く方々	市内の高校に通く高校生		駅周辺の関係者や駅周辺のまちづくりに興味のある方々	

成果と全体構想への反映 各ワークショップで得られた主な成果と、成果のなかから全体構想に反映するポイントを整理しました。

	議論の方法	主な成果	全体構想への反映ポイント
暮らしサロン	方法 ：ロールプレイ 目的 ：現在の自分でない立場から、まちの将来像を議論する 概要 ：自分とは異なる年齢や立場のキャラクターを設定し、そのキャラになったつもりで意見を述べ、朝霞市の20年後が「こうなっていたらいいな」という姿と、その姿を実現するための取組アイデアをグループごとに出し合いました。	【20年後の「こうなっていたらいいな」を実現する取組みアイデア】※抜粋整理 ・ 「多様な暮らしと世代のミックス」 ：多様な世代が暮らしやすく、様々な世代が交流（ミックス）ができる場所と機会を設ける など ・ 「身の丈に応じた商業・経済」 ：周辺の都市と競合しない商業の育成や、市のなかで創業してもらうための支援 など ・ 「緑を朝霞市の魅力として活用」 ：市内の緑を守るだけでなく、朝霞市の魅力であり参加や交流ができる場所としてもっと活用する など ・ 「挑戦ができる環境」 ：空き家や未利用地を暫定活用するなどして、ビジネスややりたいことにチャレンジできる場所を用意する など	市民の皆さんが求める将来の朝霞市を実現するには、土地利用・道路交通・市街地整備といった従来型（縦割り型）の分野別方針では限界があることがわかりました。そのため全体構想を 「テーマ型の構成」 とすることで、市民の皆さんが求める取組により柔軟に対応できる都市マスの構成とします。 ※テーマの内容は、ワークショップのほかアンケートや課題整理を通じて設定します。
高校生サロン （朝霞高校、朝霞西高校）	方法 ：フォアキャスト&バックキャスト 目的 ：高校生が大人になったときの自分とまちの姿を、現在からの予測と現在にとらわれない理想の両面から考える 概要 ：高校生の皆さんが大人になったときの姿を、現在を起点として未来を予測する方法(フォアキャスト)とありたい未来を描き、そこから逆算する方法（バックキャスト）でそれぞれ描いて比較したり、将来の共通項を見つけて、まちのキーワードを抽出しました。	【理想のまちのキーワード】※抜粋整理 ・ 「自分・家族」 ：自分らしくいられる、家族を大切にする ・ 「ゆとり、時間」 ：好きなことをする時間がある、ゆとりのある生活 ・ 「やさしさ」 ：人にやさしい、自分にもやさしい、自然にやさしい ・ 「豊かさ」「QOL」 ：量より質的な豊かさ、生活の質を高める ・ 「つながり・人間関係」 ：好きなことや伝統を通して人や地域とつながる ・ 「ロマンチック」 ：出会いがある、花壇やきれいな公園や素敵なカフェがある	高校生が大人になったときの理想のまちを考え、複数人に共通するキーワードを挙げていった結果、左に記載するようなキーワード（自分、時間、生活の質、つながりなど）を重視していることがわかりました。これらのキーワードを 「朝霞市の将来像」 を設定する際の参考とします。 ※将来像は、総合計画側の検討と整合を図りながら設定します。
駅周辺サロン （北朝霞・朝霞台駅周辺、朝霞駅周辺）	方法 ：ロジックブリッジ(※) 目的 ：駅周辺に求められる取組のアイデアを、議論を楽しみながら出し合う 概要 ：周辺における「課題」と「将来の姿」を別々に挙げたあと、両者を結び付ける「取組」を見つけることでロジックのつながりを完成させるゲーム（ロジックブリッジ）によって、駅周辺で求められる取組のアイデアを出し合いました。 ※駅周辺サロンオリジナルの手法	【北朝霞・朝霞台周辺で求められる取組】 ・ 乗換 ：乗換時、あえて寄り道してもらえるような動線計画にする ・ 滞在 ：駅周辺に滞在空間をつくって、滞在や寄り道したくなる駅前に ・ チャレンジ ：市民・事業者がチャレンジできる場所を用意する ・ ブランディング ：にんじんをPR、ストリートに名前をつける など 【朝霞駅周辺で求められる取組】※抜粋整理 ・ ウォーカブル ：道路が狭いため、歩行者と公共交通優先のウォーカブルな交通環境とする ・ 複合利用 ：広場や様々な施設を複合的な目的・機能でつかう ・ チャレンジ ：情報や人や空間をマッチングしてチャレンジしやすくする	課題と将来（望ましい姿）を結び付ける「取組」のアイデアを出し合った結果、各駅ごとに特徴を捉えた具体的な取組アイデアが出てきました。全体構想では両駅周辺を都市拠点と位置付け、 重点的に取組内容の検討 を行います。この成果はその際の アイデア集として参考 とします。

合意形成プロセス「まちづくりサロン（全体版 全5回）」 当日の様子

暮らしサロン



高校生サロン 朝霞高校編



高校生サロン 朝霞西高校編



駅周辺サロン 北朝霞・朝霞台駅周辺



駅周辺サロン 朝霞駅周辺



暮らしサロン



高校生サロン 朝霞西高校編



高校生サロン 朝霞高校編



駅周辺サロン 北朝霞・朝霞台駅周辺



駅周辺サロン 朝霞駅周辺



まちづくりサロン「暮らし」開催報告

開催の目的

将来も住み続けたり、働く場所として通い続けるために、どんなまちづくりを目指すべきかを議論する。

開催概要

日 時：6月22日（土） 10：00～12：00

開催場所：朝霞市役所 大会議室（手前）

参加者数：18人

グループワークの内容

【テーマ】

将来も朝霞に住み、通い、働く

【議論の手法】

ロールプレイ

【議論の進め方】

1 ロールプレイのキャラ割り振り

グループ内で被らないようになりながら、ロールプレイで担うキャラを決める。

2 キャラ設定カードの作成

ロールプレイのキャラになりきるため、「キャラ設定カード」にキャラの詳細を書き込む。

3 設定したキャラと、「こうなったらいいな」の共有

グループ内で、キャラ設定カードをもとに、どんなキャラであるかを説明する。そのうえで、カードの下段に記載した「本当はこうなったらいいなと思うこと」を説明する。

4 「こうなったらいいな」を実現するために

「こうなったらいいな」を実現するために、まちづくりの面でできること、改善していきたいことを考え、今後20年くらいかけてやっていくことも含めてアイデアを出し合う。

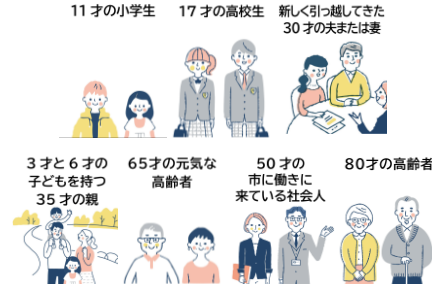
～プログラム～

時間	所要時間	内容
10:00	20分	開会挨拶、趣旨・都市マス・ワークの説明
10:20	10分	グループワーク内自己紹介
10:30	80分	グループワーク「こうなったらいいな」
11:30	60分	グループワークの発表と総評
11:50	20分	振り返り(アンケート記入・参加者の感想共有)

ロールプレイとは…

自分とは異なる年齢や立場の人になったつもりで考え、意見を述べ合う、ワークショップの手法のひとつ

～ロールプレイの役割一覧～



～キャラ設定カードのイメージ～

項目	あなたが考えた設定(なるべく詳細に)
カードに書かれた役	(例:新しく引っ越してきた30歳の夫)
住んでいるところ、働いている(通っている)ところ	(例:朝霞駅徒歩5分の1LDKマンションに住み、新宿に本社がある企業に通う)
朝霞市や地域との関係(現状)	(例:マンション管理組合以外の接点はない)
仕事の内容または趣味・活動	(例)昔サッカーをやっていて、最近またやりたいと思っている
困っていることや今後の心配ごと	(例)近所に友人や知り合いがいないので、災害が起きたときに心配
本当はこうなったらいいなと思うこと(生活・仕事面)	(例)通勤は週1～2回くらいであとは在宅勤務にしたい
本当はこうなったらいいなと思うこと(趣味・活動・プライベート面)	(例)サッカーを通じて地域の人と仲良くなり、地域で友人や知り合いを増やしたい

振り返りアンケートの結果

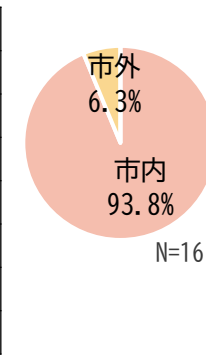
〈性別〉

性別	回答数
男性	8
女性	7
その他	1
総計	16

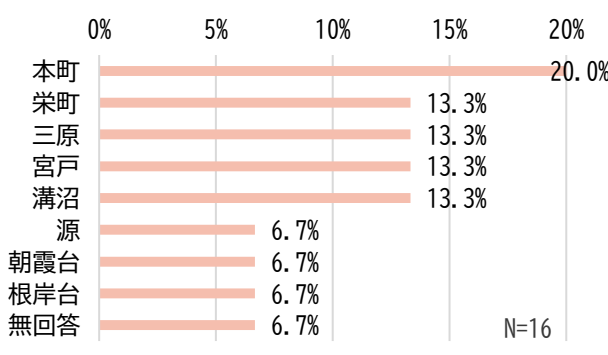
〈年齢〉

性別	回答数
10代	1
30代	1
40代	4
50代	4
60代	2
70才以上	4
総計	16

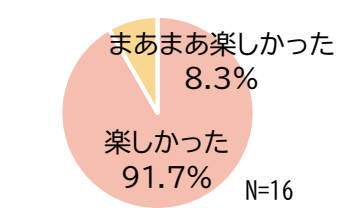
〈居住地〉



〈市内:地域名〉



〈本日は楽しめましたか〉



〈朝霞市のことを考える中で、新たな気づきや発見はありましたか〉



〈新たな気づきや意見が「あった」と回答した方はどんな気づきがあったか記入してください〉

グループワーク

- ・色々な意見を聞けて良かった。
- ・都市マスに関して「朝霞らしいまちとは？」をテーマにした議題が良かった。

まちづくりについて

- ・ハード面より人のつながりに関する意見多いことが意外だった。
- ・場の必要性には目的が必要である。
- ・コミュニティづくりが大切だと思う。

緑に関する意見

- ・緑が少ないと皆が感じている。
- ・緑のあるまちが魅力で人が集まる結果、緑が減少するジレンマがある為、それを防ぐための制度が必要という意見に共感した。
- ・緑地保護の取組を進めたい。

〈感想〉

朝霞市に対する思い

- ・よりよい朝霞、住み続けたい朝霞になってほしい。
- ・市民の声を積み重ねてまとめてください。

考えたこと・感じたこと

- ・考えていることが近いことが多く、まとまったことを実現できると、とても良いまちができると思う。ぜひ実現していきましょう。

グループワーク

- ・幅広い世代の方と意見交換できてよかった。単なる”今欲しいもの”だけでなく、20年のスパンで議論できてよかった。
- ・もっと参加者を増やしてほしい。
- ・とても楽しかった。
- ・いろいろな方と意見を交わして、朝霞市について考える良い機会になった。

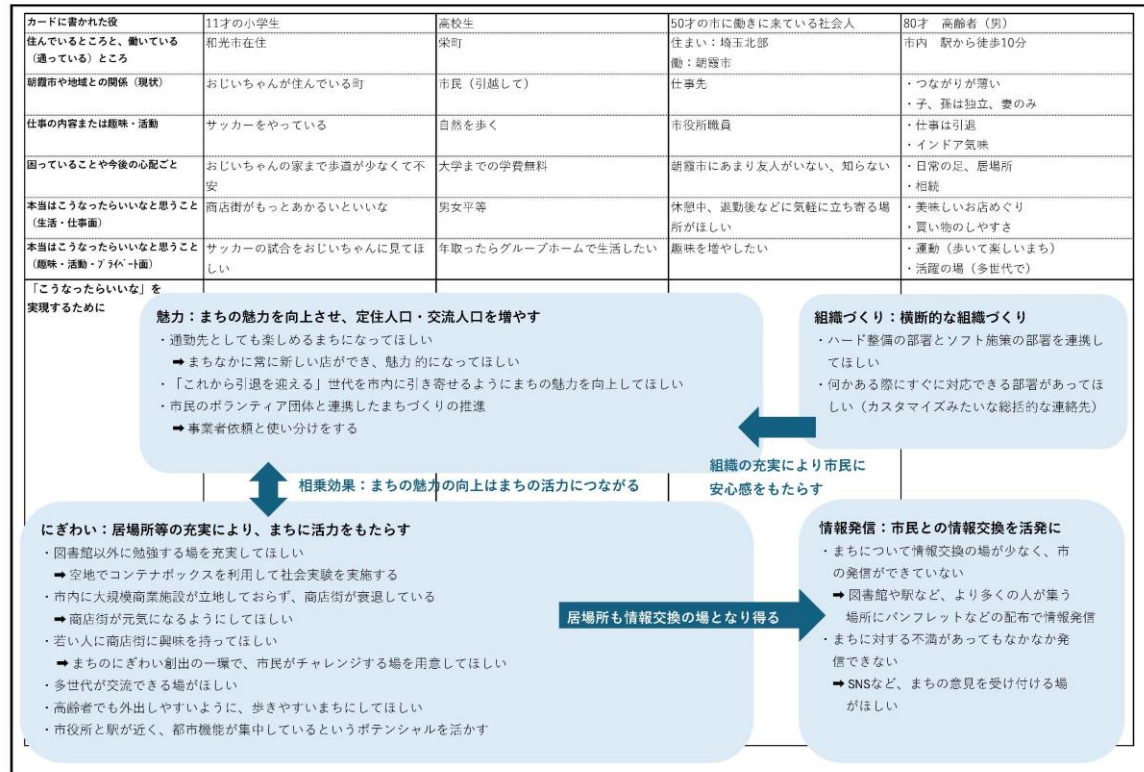


グループワークのまとめ

今回のワークショップでは、ロールプレイを取り入れ、自分とは異なる年齢や立場の人になったつもりで朝霞市の20年後が「こうなっていたらいいな」という姿と、その姿を実現させるための取組アイデアについて議論しました。その結果、「多様な暮らしと世代のミックス」「身の丈に応じた商業・経済」「緑を朝霞市の魅力として活用」「挑戦ができる環境」などの20年後の暮らしの姿を共有することができました。

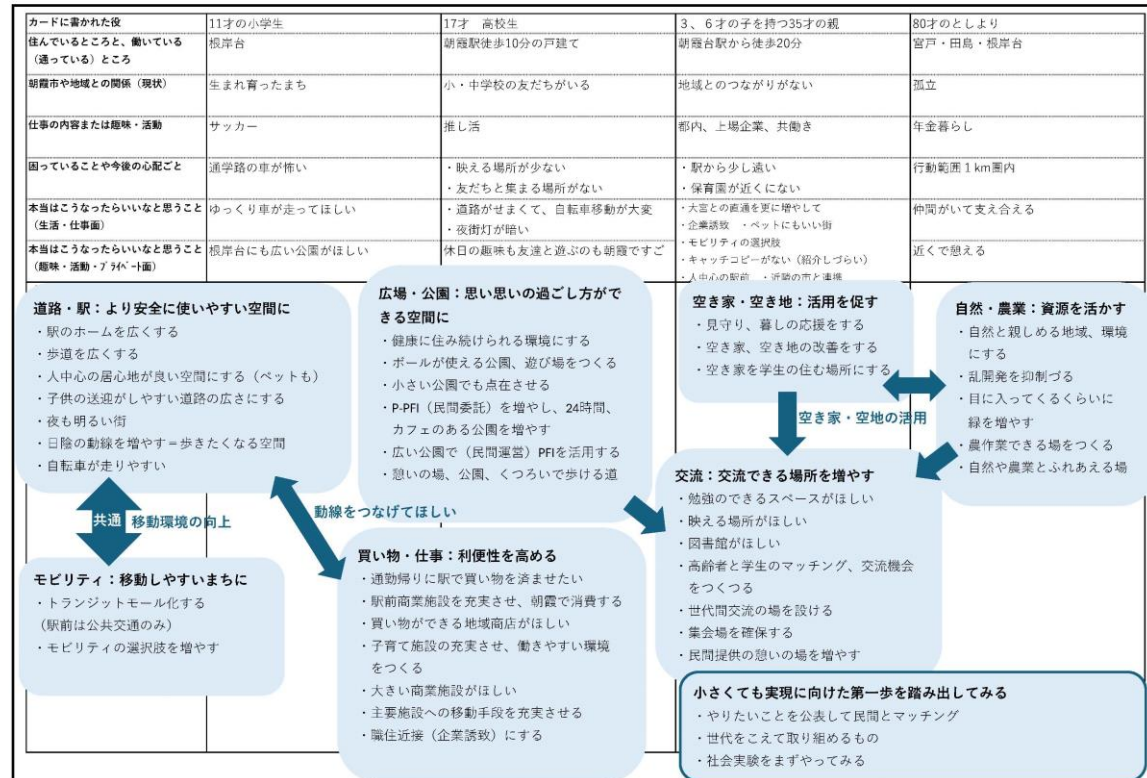
Aグループ

Aグループでは、まちの「活力」や「魅力」が向上するまちについて議論されました。



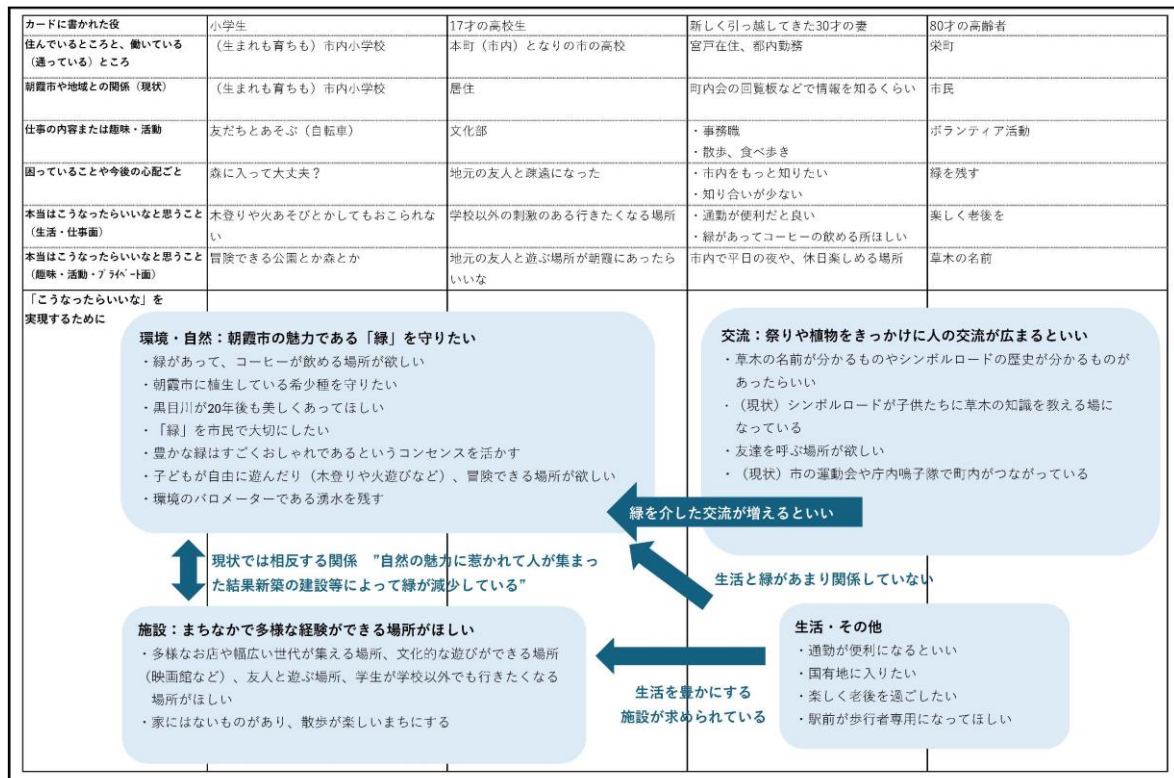
Bグループ

Bグループでは、「小さくても実現に向けた第一歩を踏み出す」ことにつながるような内容が議論がされました。



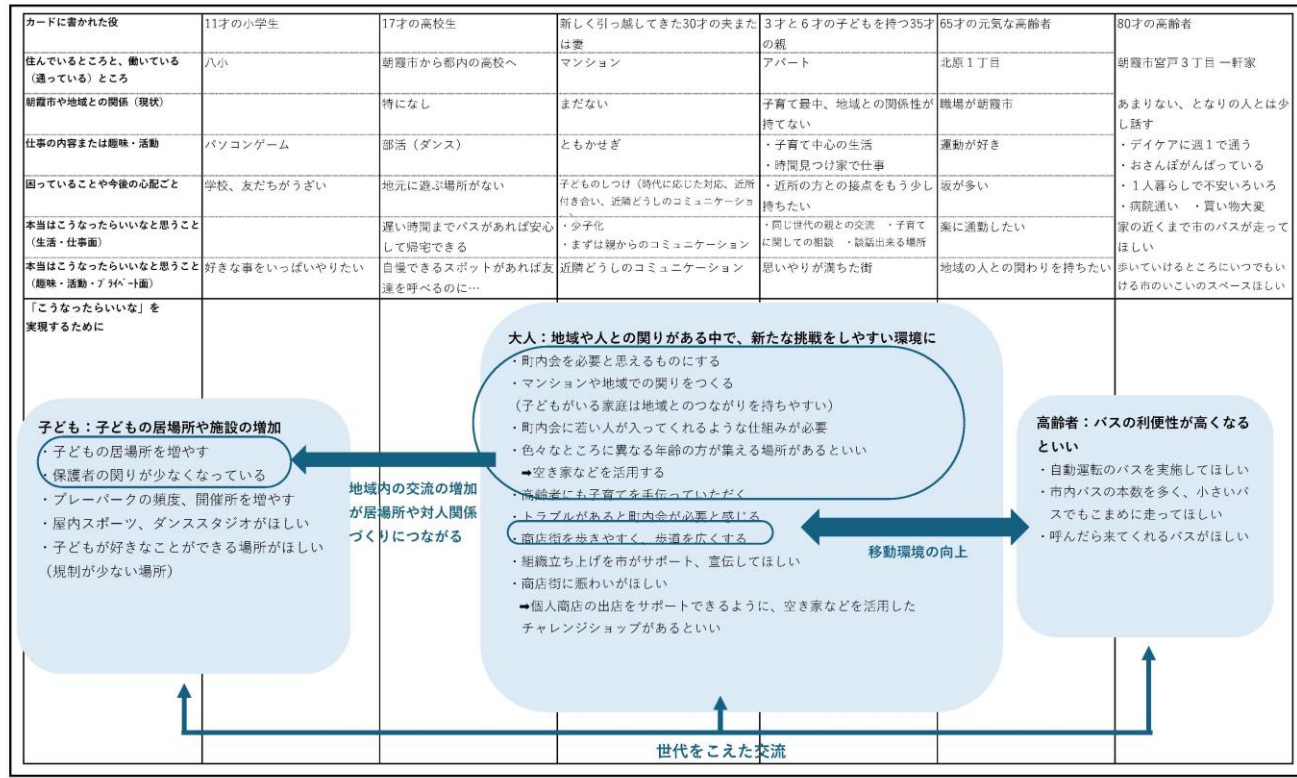
Cグループ

Cグループでは、特に「緑」を朝霞の魅力と捉え、緑とともにある暮らしについて議論されました。



Dグループ

Dグループでは、子どもと大人の「地域内のつながり」と「バスの利便性」について議論されました。



まちづくりサロン「高校生（朝霞高校）」開催報告

開催の目的

参加者である高校生が大人になったとき、どんなまちでどんな暮らしをしていることが理想かを話し合ってもらい、理想とする暮らしができるまちがどんなまちなのかを考えてもらう。

開催概要

日時：7月4日（木）13:30～15:30

開催場所：朝霞高校

参加者数：12人

グループワークの内容

【テーマ】

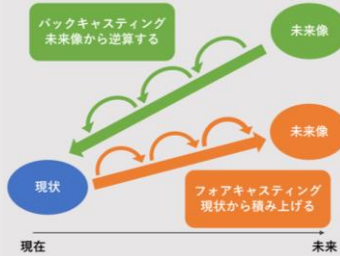
未来の私とまちの姿

【議論の手法】

フォアキャスティング、バックキャスティング

フォアキャスティング、バックキャスティングとは…

- フォアキャスティング： 現在を起点として未来を予測する方法
- バックキャスティング： あるべき（ありたい）未来を描き、そこから逆算して現在おこなうべき行動を決定する方法



【議論の進め方】

1 フォアキャストの15年後

自分と朝霞市について「フォアキャストカード」に15年後のことを予測して書き、グループ内で共有する。

2 バックキャストの15年後

「こうなっていたい」という希望の未来を考え、「バックキャスティングカード」に思い描いた理想の暮らしを書き、グループ内で共有する。

3 フォキャストとバックキャストの比較

フォキャストとバックキャストを比較し、2つの違いをグループワーク内で共有する。

4 バックキャストの未来に共通するまちの姿

まず、バックキャストで描いた未来をグループのなかで見比べて、何人かに共通しているキーワードを探し出し、模造紙に書く。
次に、書き出したキーワードが実現しているまちとはどんなまちなのかを話し合い、模造紙上に

「私たちの理想のまちは○○○○○○○○○○なまち」

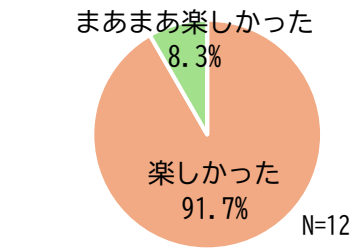
など、理想のまちの姿を言語化またはイラスト等で表現する。

振り返りアンケートの結果

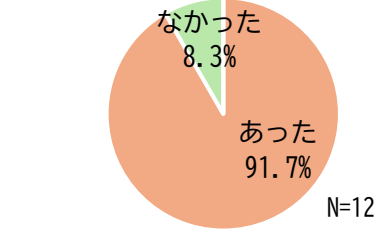
〈性別〉

性別	回答数
男性	2
女性	10
総計	12

〈本日は楽しめましたか〉



〈朝霞市のことを考える中で、新たな気づきや発見はありましたか〉



〈新たな気づきや意見が「あった」と回答した方はどんな気づきがあったか記入してください〉

朝霞市に対する思い

- ・このまちに住み続けることを考え、更によりよいまちにしたい。
- ・改善点が少なく、とても良い市だと思った。

まちに対する考え方

- ・まちは自分がいたかったらいるし、いたくなかったら別のまちに行くものだと思っていたけれど、まちと向き合って、まちは変えていくものだと感じた。

意見交換

- ・何人かで話し合うことで新しいことを知れた。だめなところから良いところまで深く知れた。
- ・いい所と悪い所がたくさんあるんだなと思った。伸び代たくさんあると思った。

〈感想〉

グループワーク

- ・フォア/バックキャスティングで考えることで、自分が考える未来と、なりたい未来でどう変わるのかを知れた。
- ・同じ考えと異なる考えを照らし合わせて、模造紙にまとめるのが面白かった。

都市マスタープランに対する理解

- ・中学校の社会の授業で都市計画マスタープランについて考えた時は具体性がなく分からなかったけれど、今回は基礎的な部分を考えられ、都市計画マスタープランに対する理解度が高まった。

考えたこと・思ったこと

- ・市外の人の意見を聞いたり、朝霞市について話し合うことで、今まで以上に朝霞市について知ることができたとともに、朝霞市について深く考えることで、朝霞市が将来どうあってほしいか、自分なりの考えをもつことができた。
- ・朝霞市の改善点や目指すまちかどのようなものなのか、はっきりと分かった。このサロンで学んだことを覚えて、自分もまちをより良くするために行動したい。



グループワークのまとめ

今回のワークショップでは、フォアキャストイングとバックキャストイングという2つの将来像の比較やバックキャストで描いた将来の共通項を見つけ、これから大人になる高校生の立場で将来の朝霞市のまちづくりについて議論しました。その結果、「自分・家族」や「ゆとり、時間」「豊かさ」「QOL」といった価値観を大切にしたい15年後の暮らしの姿を共有することができました。

Aグループ

(6人)

私たちの理想のまちは…

「・自然と人とともに生き続けるまち

・幸せ溢れる多様なまち

・進化し続けるまち」



Aグループは、主に、「QOL=Quality of life(生活の質)」を向上させるにはどのようなまちが理想なのかという視点で議論しました。

Bグループ

(6人)

私たちの理想のまちは…

「安心して暮らせる幸せなまち」



Bグループは、「幸せに暮らす」ためにはどのような住まいや時間の使い方が理想なのかを議論したうえで、どのようなまちがそれらを実現させるのに理想なまちなのかを議論しました。

----- バックキャストで描いた将来に共通していたこと -----

【人間関係】

- ・自分を大切にする
- ・人を大切にする
- ・人との関りを大切にする
- ・家族、友人・子供など人との関わりを大切にする

【自己愛】

- ・充実した休日を過ごす
- ・将来の夢がある
- ・好きな学問がそのままなりたい職業につながっている

【QOL】

- ・自分の時間も大切にする
- ・家庭での生活も充実させる
- ・QOLを上げて生活をする
- ・休日に自分の好きな事や、やりたい事をする
- ・旅行をする
- ・何かしらの仕事に就く

【自然】

- ・自然を大切にする

【公共設備】

- ・交通網が良くなる
- ・道の整備が進む
- ・公共施設の整備が進む(公園、子どもの遊び場など)

【その他】

- ・朝霞市に住み続ける
- ・ペットを飼っている

【時間】

- ・家族や友人と一緒に過ごす
- ・自分の時間をもつ
- ・家でゆっくり過ごす

【住まい】

- ・通勤に便利なところに住む
- ・他県に移住するが、たまに朝霞に帰る
- ・スローライフをおくる
- ・安心して通れるまちに住む
- ・買い物が楽しめるまちに住む
- ・ゴミのないまちに住む

【家族構成】

- ・結婚している
- ・子どもがいる

【その他】

- ・やりがいをもって仕事をする
- ・自然を感じながら生活をする

■フォアキャストイングカードの記入例

フォアキャストイングカード (今を基点とした未来の予測)	
住んでいる場所や住まい	志本市
自分の仕事	学校の教師
家族構成	結婚して、自分・夫・子供
15年後の日常の様子	仕事→フリータイム→やる
15年後の休日の過ごし方	買い物・旅行
朝霞市との関わり(あれば)	
現在のまちと15年後のまちの違い	歩道がきれいになっていい

フォアキャストイングカード (今を基点とした未来の予測)	
住んでいる場所や住まい	志本市 近郊一軒家
自分の仕事	市役所職員
家族構成	夫、子供
15年後の日常の様子	結婚している
15年後の休日の過ごし方	家族と過ごす
朝霞市との関わり(あれば)	高校の友達と会ったりする
現在のまちと15年後のまちの違い	火曜日が消える

■バックキャストイングカードの記入例

バックキャストイングカード (ありたい未来を描く)	
今の自分の興味のある分野・仕事・職業など(15年後にも大切にしたい)	歴史、読書
住んでいる場所や住まい	一人の時間を大切にしたい
自分の仕事と働いている様子	志本市 市役所
家族構成	家族の存在によって生活と豊かさが変わる
朝霞市との関わり	親子で毎年行きたい
15年後の日常の様子	朝霞市に引っ越して家族と過ごす
15年後の休日の過ごし方	日本国用器 → 旅行
現在のまちと15年後のまちの違い	道の整備がもっといい

バックキャストイングカード (ありたい未来を描く)	
今の自分の興味のある分野・仕事・職業など(15年後にも大切にしたい)	公務員、哲学、読書、英語
住んでいる場所や住まい	自然が豊かなところ
自分の仕事と働いている様子	自然の中で働いている
家族構成	4人家族
朝霞市との関わり	自然とつながりたい
15年後の日常の様子	人との関わりが豊かになる
15年後の休日の過ごし方	オンラインゲーム
現在のまちと15年後のまちの違い	自然がもっと身近になる

まちづくりサロン「高校生（朝霞西高校）」開催報告

開催の目的

参加者である高校生が大人になったとき、どんなまちでどんな暮らしをしていることが理想かを話し合ってもらい、理想とする暮らしができるまちがどんなまちなのかを考えてもらう。

開催概要

日時：7月17日（木）13:30～15:30

開催場所：朝霞西高校

参加者数：30人

グループワークの内容

【テーマ】

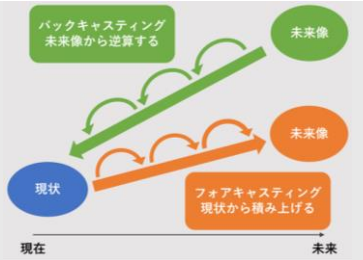
未来の私とまちの姿

【議論の手法】

フォアキャスティング、バックキャスティング

フォアキャスティング、バックキャスティングとは…

- フォアキャスティング： 現在を起点として未来を予測する方法
- バックキャスティング： あるべき（ありたい）未来を描き、そこから逆算して現在おこなうべき行動を決定する方法



【議論の進め方】

1 フォアキャストの15年後

自分と朝霞市について「フォアキャストカード」に15年後のことを予測して書き、グループ内で共有する。

2 バックキャストの15年後

「こうなっていたい」という希望の未来を考え、「バックキャスティングカード」に思い描いた理想の暮らしを書き、グループ内で共有する。

3 フォキャストとバックキャストの比較

フォキャストとバックキャストを比較し、2つの違いをグループワーク内で共有する。

4 バックキャストの未来に共通するまちの姿

まず、バックキャストで描いた未来をグループのなかで見比べて、何人かに共通しているキーワードを探し出し、模造紙に書く。

次に、書き出したキーワードが実現しているまちとはどんなまちなのかを話し合い、模造紙上に

「私たちの理想のまちは○○○○○○○○○○なまち」

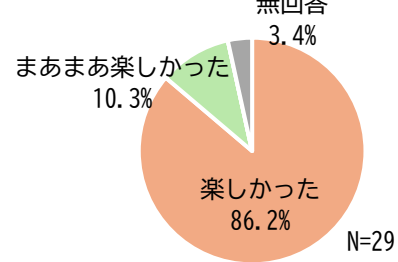
など、理想のまちの姿を言語化またはイラスト等で表現する。

振り返りアンケートの結果

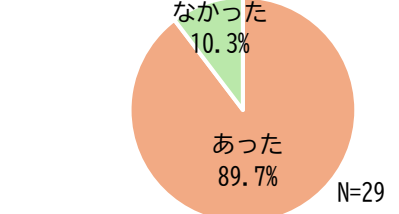
〈性別〉

性別	回答数
男性	9
女性	20
総計	29

〈本日は楽しめましたか〉



〈朝霞市のことを考える中で、新たな気づきや発見はありましたか〉



〈新たな気づきや意見が「あった」と回答した方はどんな気づきがあったか記入してください〉

朝霞市	まちに対する考え方
・すでに色々進んでいるまちだけど、更に新しいことに挑戦する動きがみられた。 ・まちづくりに対して積極的である。	・すべてのジャンルと世代において、安心して暮らせるまちが望まれている。 ・自然とまちが共存している。

グループワーク

- ・今の朝霞市の状況から、未来はこうなってそうだと、こうなってほしいということを考えられ、まちが発展するためには色々な視野が必要だと思った。
- ・フォアキャスト、バックキャストの考え方が大切だということに気づかされた。
- ・朝霞市が今どんな状態なのかを考え、人との関わる大切さや楽しさに気づいた。

〈感想〉

- まちづくり
・1つのまちを運営するのにも考えなくてはならない要素が多く、まちの運営は大変だと改めて感じた。このあたたかいまちが、この先も続いていけるよう頑張りたい。
- ・今回出た意見が、これからのまちづくりに活かされたら嬉しい。

グループワーク

- ・本題のまちをつくる考えを話し合う事も楽しかったけれど、まずみんなで話し合う事自体が新鮮で楽しかった。この体験を活かして、これからどんどん参加していきたい。
- ・新しい意見が出たり、考えられない部分も気づけたのでよかった。
- ・それぞれ思い描く将来像は違うけれど、思い描く市の印象は似たようなもので、面白いと思った。自分では考えられなかった視点も、グループワークを通して見る事ができてよかった。



グループワークのまとめ

今回のワークショップでは、フォアキャストとバックキャストという2つの将来像の比較やバックキャストで描いた将来の共通項を見つけ、これから大人になる高校生の立場で将来の朝霞市のまちづくりについて議論しました。その結果、「自分・家族」や「やさしさ」「つながり・人間関係」「ロマンチック」といった理想のまちのキーワードを導き出しました。

【フォアキャスティングカードとバックキャスティングカードの記入例】

[illegible]

Aグループ

私たちの理想のまちは…

(5人) 「いのちが宿り、満たされるまち」



Aグループは、主に、「自分のことを大切にする」ためにはどのようなまちが理想なのかという視点で議論しました。

バックキャストで描いた将来に共通していたこと

【自分のこと】

- ・自分を大切にする
- ・自分に優しくする
- ・休日は自分の好きなことをする
- ・趣味の時間をしっかりつくる

【緑と共存】

- ・ビルが多いけど緑と共存している
- ・緑があると、景観が良くなる

【暮らし】

- ・時間に余裕のある暮らしをする
- ・関東に住む
- ・経済的に豊かな暮らしをする

【その他】

- ・動物と暮らす
- ・生活の中で駅を利用する

Bグループ

私たちの理想のまちは…

(5人) 「自然にやさしいはたらきやすくて

住みやすいまち



Bグループは、仕事や家族と過ごす「時間」を充実させるためにはどのようなまちが理想なのかという視点で議論しました。

バックキャストで描いた将来に共通していたこと

【住まい】

- ・ 関東都心に住む
- ・ 実家暮らしをする

【生活】

- ・趣味の時間を大切にする
- ・楽しんで仕事をする
- ・独身生活を送る
- ・ペットを飼う

【まちの姿】

- ・子供が増える
- ・学校は減らない
- ・緑がたくさんあるまちになる
- ・環境にやさしいまちになる

- ・自然があるまちになる
- ・環境保全が進んでいる
- ・働きやすいまちになる
- ・大気がきれいなまちになる

Cグループ

(5人)

私たちの理想のまちは…

「発展している豊かなまち」



Cグループは、主に、「誰かと一緒に過ごす時間」を充実させるためにはどのようなまちが理想なのかという視点で議論しました。

----- バックキャストで描いた将来に共通していたこと -----

【まちの姿】

- ・緑が少なくなる
- ・住宅地が増える
- ・美術館ができる
- ・豊かなまちになる
- ・動物の増加する
- ・昼間人口が増える

【プライベート】

- ・家族と過ごす
- ・ゆっくり過ごす
- ・趣味を楽しむ
- ・都心に住む
- ・彩夏祭の他にも市民が参加する行事が増える

【仕事】

- ・充実している
- ・多忙なワークライフをおくる

Eグループ

(5人)

私たちの理想のまちは…

「・好きなことで地域とつながるまち
・伝統を通して人と関われるまち」



Eグループは、「地域活動」が「人との関り」「活気のある生活」「趣味を楽しむこと」につながることで理想のまちになるのではないかという議論をしました。

----- バックキャストで描いた将来に共通していたこと -----

【人との関り】

- ・友人、家族と過ごす
- ・人と関わりをもつ
- ・人を笑顔にする

【趣味】

- ・趣味を楽しむ（魚釣りなど）

【家族やペット】

- ・ペットを飼う
- ・家族と暮らす

【地域活動】

- ・ボランティアに参加する
- ・お祭りに参加する
- ・地域活動に参加する

【まちの姿】

- ・賑やかになっている
- ・地域の関わりが強くなる
- ・活気に溢れている

Dグループ

(5人)

私たちの理想のまちは…

「ロマンチックなまち」



Dグループは、「家族をつくる」「家族と楽しく過ごす」ことができるように、どのようなまちができたらいかを議論しました。

----- バックキャストで描いた将来に共通していたこと -----

【まちの姿】

- ・交通の便がいい
- ・住みやすい
- ・道が広い
- ・出会いがたくさんある
- ・楽しく過ごせる

【自然】

- ・自然のきれいな公園がある
- ・お花の溢れるまち
- ・道路沿いに花壇がある

【施設】

- ・子どもが遊べる所がたくさんある（児童館等）
- ・素敵なカフェがある

【その他】

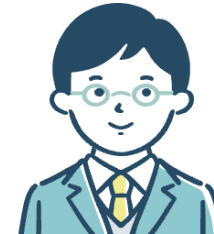
- ・結婚している

Fグループ

(5人)

私たちの理想のまちは…

「個々の人生とつながりを尊重した、持続可能で住みやすいまちづくり」



Fグループは、「自分の時間や人とのつながり」を大事にしつつ、「持続可能で住みやすいまち」を実現させるためにはどうしたらよいかを議論しました。

----- バックキャストで描いた将来に共通していたこと -----

【つながり】

- ・母校に遊びに行く
- ・妻子をもつ
- ・人と関わる

【個々の人生を尊重】

- ・ペットと過ごす
- ・在宅ワークをする
- ・1人の時間をもつ

【自然】

- ・自然が多く、緑が豊かな
- ・人にも自然にも細かな配慮がある

【住みやすさ】

- ・利便性が高まる
- ・完全自動運転の開始や交通網が発達し交通機関が充実する

まちづくりサロン「駅周辺（朝霞台・北朝霞駅）」開催報告

開催の目的

将来の北朝霞・朝霞台駅周辺がどんなまちになってほしいか、そのためにどんな取組をすればよいのか、について議論する。

開催概要

日 時：7月11日（木）18:00～20:00
開催場所：産業文化センター
参加者数：18人

グループワークの内容

【テーマ】

将来の北朝霞・朝霞台駅周辺がこうなったらいいな！

【議論の手法】

ロジックブリッジ

【議論の進め方】

1 チーム分け

グループ内で、課題チームと将来チームに均等に分かれる。

2 課題・将来を挙げる

課題と将来を挙げる作業を行う。

○課題チーム:駅周辺で考えられる課題をできるだけたくさん挙げて、ふせんに書き、「課題ゾーン」に貼っていく。

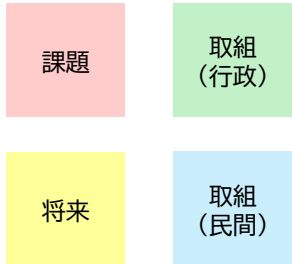
○将来チーム:こうなったらいいなと思う「将来の姿・状態」をふせんに書き、「将来ゾーン」に貼っていく。

3 取り組み内容を考える

課題ゾーンと将来ゾーンを照らし合わせ、「課題」と「将来」を結び付ける「取組」をグループ内で考える。

取組を考えることで、課題と将来を橋渡し(ブリッジ)する一連のロジックが完成する。

(凡例)



～プログラム～

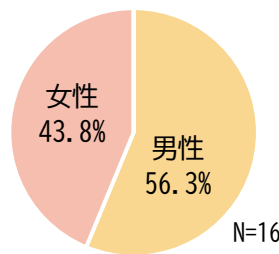
時間	所要時間	内容
18:00	20分	開会挨拶、趣旨・都市マス・ワークの説明
18:20	7分	グループワーク内自己紹介
18:27	73分	グループワーク
19:40	10分	グループワークの発表と総評
19:50	10分	振り返り(アンケート記入・参加者の感想共有)

ロジックブリッジとは…

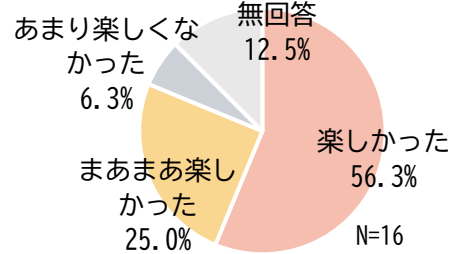
取り組み内容をグループで考えることで、ゲーム性を持たせて楽しみながら議論する手法。(オリジナルの手法)「課題」に対してどんな「取組」をしたら「将来」の姿になるか、一連のロジック(論理)が成り立つようにして議論を進める。

振り返りアンケートの結果

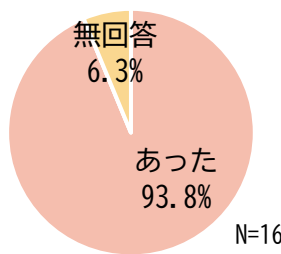
〈性別〉



〈本日は楽しめましたか〉



〈朝霞市のことを考える中で、新たな気づきや発見はありましたか〉



〈新たな気づきや意見が「あった」と回答した方はどんな気づきがあったか記入してください〉

意見交換

- ・いろいろな考え方が知れて良かった。
- ・答えが出ない交流があったのでよかった。
- ・物事を考える点でいろいろな見方があることを改めて気づいた。

その他

- ・いろいろな方々とまちづくりを考える機会ができて、まちの見方が広がった。
- ・民間と行政の距離が近いと感じた。

〈感想〉

プログラム

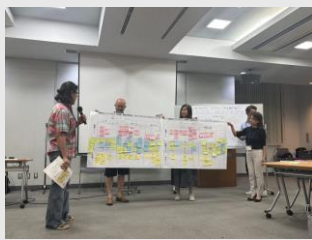
- ・振り返りで、司会者から各チームの要点の説明があったのが分かりやすかった。
- ・楽しかった。
- ・ロジックブリッジでのチーム分けだったが、課題と将来両方の意見を述べたかった。

その他

- ・市民として、良いまちがみんなで作れるといいと思う。
- ・朝霞らしいまちをつくっていきたい想いが感じられた。
- ・行政と市民の協力が具体的にみえてきた。

意見交換

- ・多世代の市民が楽しめるまちづくりについての意見を出し合うのは、とても良いと思った。
- ・多くの市民の方のそれぞれの思いを知ることができた。
- ・まわりに朝霞台を語る事がないので、新鮮な気持ちで議論できた。
- ・3チームそれぞれ特色があり、面白かった。



グループワークのまとめ

今回のワークショップでは、「課題」に対してどんな「取組」をしたら理想の「将来」の姿になるかを考え、民間で行う取組と行政で行う取組のアイデアを議論しました。その結果、「動線」「滞在」「チャレンジ」「ブランディング」といったキーワードに関する取り組みが挙げられました。

(凡例)					
課題					
取組 (行政)					
取組 (民間)					
将来					
Aグループ					
課題					
取組					
将来					
Bグループ					
課題					
取組					
将来					
Cグループ					
課題					
取組					
将来					

まちづくりサロン「駅周辺（朝霞駅）」開催報告

開催の目的

将来の北朝霞・朝霞台駅周辺がどんなまちになってほしいか、そのためにどんな取組をすればよいのか、について議論する。

開催概要

日 時：7月18日（木）18:00～20:00
開催場所：産業文化センター
参加者数：12人

グループワークの内容

【テーマ】

将来の朝霞駅周辺がこうなったらいいな！

【議論の手法】

ロジックブリッジ

【議論の進め方】

1 チーム分け

グループ内で、課題チームと将来チームに均等に分かれる。

2 課題・将来を挙げる

課題と将来を挙げる作業を行う。

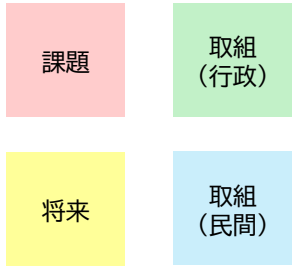
○課題チーム：駅周辺で考えられる課題をできるだけたくさん挙げて、ふせんに書き、「課題ゾーン」に貼っていく。

○将来チーム：こうなったらいいなと思う「将来の姿・状態」をふせんに書き、「将来ゾーン」に貼っていく。

3 取り組み内容を考える（例示）

課題ゾーンと将来ゾーンを照らし合わせ、「課題」と「将来」を結び付ける「取組」をグループ内で考える。

取組を考えることで、課題と将来を橋渡し（ブリッジ）する一連のロジックが完成する。（凡例）



～プログラム～

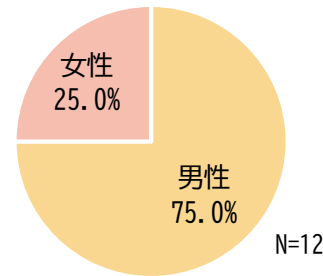
時間	所要時間	内容
18:00	20分	開会挨拶、趣旨・都市マス・ワークの説明
18:20	7分	グループワーク内自己紹介
18:27	73分	グループワーク
19:40	10分	グループワークの発表と総評
19:50	10分	振り返り(アンケート記入・参加者の感想共有)

ロジックブリッジとは…

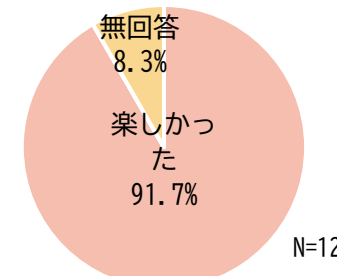
取り組み内容をグループで考えることで、ゲーム性を持たせて楽しみながら議論する手法。(オリジナルの手法)「課題」に対してどんな「取組」をしたら「将来」の姿になるか、一連のロジック(論理)が成り立つようにして議論を進める。

振り返りアンケートの結果

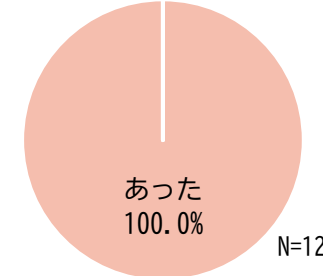
〈性別〉



〈本日は楽しめましたか〉



〈朝霞市のことを考える中で、新たな気づきや発見はありましたか〉



〈新たな気づきや意見が「あった」と回答した方はどんな気づきがあったか記入してください〉

意見交換

- ・積極的に意見交換できたのが楽しかった。
- ・昔から住んでる人と新しく住んでる人など、環境や世代で意見が違う。
- ・色々な意見を聞けて良かった。
- ・賑わいや人の交流にマッチングを利用するというアイデアが新鮮だった。

朝霞市

- ・朝霞の商店街や、昭和的なお店、畑や自然がある所が好きになり、大切にしたいと思った。
- ・個人商店が少ないと感じている人が多い。

〈感想〉

まちづくり

- ・市も民間も、できる事からスピード感を持って変わってほしい。
- ・多くの方が道路の狭さを議題に感じていることが分かり、今後の対策に期待したい。
- ・朝霞の取組を知ることができたのが良かった。
- ・議論と市の施策へのつながりの見える化してほしい。
- ・みんながより住みよい朝霞にしたいと思っていることが分かった。

意見交換

- ・2回目参加し、各回で違う意見を知ることができて面白かった。
- ・話がとぎれることなく、活発に意見を交わせた。
- ・参加者の方々と朝霞のまちづくり課題を共有できて良かった。
- ・同じ意識をもった人達と意見を交わすことができ、新たなつながりができたのも良かった。

プログラム

- ・WSの枠組みや班ごとのファシリテーションがスムーズで議論しやすかった。
- ・まちの核になる駅前に限定し、議論、意見交換できたのが良かった。



グループワークのまとめ

今回のワークショップでは、「課題」に対してどんな「取組」をしたら理想の「将来」の姿になるかを考え、民間で行う取組と行政で行う取組のアイデアを議論しました。その結果、「ウォーカブル」「複合利用」「チャレンジ」といったキーワードに関する取り組みが挙げられました。

